

夏、子どもの顔や手に水ぶくれができました 「種痘様水疱症」かもしれません

立川皮膚科クリニック
www.tachikawa-derma.com

種痘様水疱症の症状



紫外線が強くなる夏に、初め赤い斑点が多数に、子どもの顔や手、耳で、のちに中央部がくぼんだ水疱状になること温疹がたくさんできることがあります。毎年、同じ症状は、種痘様水疱症の時期に繰り返し発症することもあるこの症状について、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医の立川皮膚科クリニック・伊東秀記院長に聞きました。

「顔や耳、手の甲、下唇など、直接日光に照らされる部分(日光露光部)」

「原因は？」

「内因性光線過敏症の一種で、おもな原因として、熱や倦怠感といった全身症状はなく、日光が当たる部分には発症しにくいのが特徴です」

「悪化を防ぐために、ステロイド外用薬を処方します。通常、水疱はかさぶたになり、傷痕を残して治癒します。また思春期までに自然治癒することが一般的です」

「治療法は？」

「症状が治まらず、より激しい皮疹と発熱などの全身症状が続くようであれば、重症型種痘様水疱症を疑います。発症すると、自然治癒の傾向がなく、「慢性活動性EBウイルス感染症」を併発している可能性が高く、一部はリンパ腫などを生じ、予後不良となることもあります。より詳しい検査が必要となります」

院長:伊東秀記
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、東京慈恵会医科大学医学部卒業



休診日: 日曜、祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30~13:30	○	○	○	○	12:30まで受け付け	○
15:00~19:30	○	○	○	○	18:30まで受け付け	17:30まで受け付け

問い合わせ
TEL042-843-1377
JR「立川」駅南口徒歩2分

2021年4月23日付 「リビング多摩」に掲載されました